電気食器洗い機 F99705VI1P

AEG

設置マニュアル

Installation manual for AEG Dish-Washer.F99705VI1P

設置工事は、必ず本設置マニュアルに従い確実に行ってください。本マニュアルに従わずに発生した故障、事故等に関する責任は負いかねます。本製品は単相200V の電源を単独で使用し、20A の壁コンセントに差し込んで使用します。また、本製品は一般家庭でのご使用を想定して設計された電気用品です。

安全上のご注意

以下に示す注意事項は人への危害、財産の損害を防止するためのものですので、必ずお守りください。
図記号の詳しい説明は以下の通りです。

⚠ 警告	この図記号を無視して、誤った取り扱いをすると、『人が死亡または重傷を負う可能性が想定される』内容を示しています。		この図記号は、必ず実行しなければならない『強制指示の行為』内容です。
	この図記号を無視して、誤った取り扱いをすると、『人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される』内容を示しています。		この図記号は、してはいけない『禁止の行為』内容です。

設置上のご注意

⚠ 警 告

- 電源は単相200V・20A の専用回路と漏電しゃ断器を必ず設けてください。
  また、電源プラグ（250V・20A）に合った専用コンセントを単独で使用してください。
- 電源電線及びアース線は、プラグを外して直結しないでください。漏電やショートによる感電火災の原因になります。
- 本製品はビルトイン専用機器です。必ず障害物をなくし、通風性を確保するなど、設置工事は、この設置マニュアルに従って確実に行なってください。
  設置が適切でない場合、漏電、火災等重大事故につながるおそれがあります。電源回路の容量不足や据付工事不備があると、感電、火災の原因となります。
- 電気配線工事は、電気設備技術基準等関連法令規則等に従って必ず「法的有資格者」が行なってください。
- 本製品は「法的有資格者」によるアース工事（D種接地工事）が必要です。
  接続、固定が不完全な場合、漏電、火災等重大事故につながる恐れがあります。
- アース接地工事が不完全な場合、故障、漏電時に感電などの原因となります。
- 絶対に分解・修理・改造を行なわないでください。火災、感電、けがのおそれがあります。
- 水滴がかかる所、地下室等、湿気が大量に発生する場所には絶対に設置しないでください。
  絶縁不良、サビ、接触不良、漏電、感電、火災につながるおそれがあり危険です。

⚠ 注 意

- 本機をビルトインするシステムキッチンのキャビネットは確実に固定し、設置時およびご使用時に倒れないようにしてください。故障、破損、けが、漏電のおそれがあります。
- システムキッチンにビルトインする際、機器の接触部分の保護の為の養生を行ってから作業をしてください。
- 設置する床面は、後で本体を引き出せるように、必ず手前を平坦に仕上げてください。

はじめに確認してください

AEG 製電気食器洗い機をご購入される前に、必ず本設置マニュアルをご確認ください。

設計者 / 製品の設置を行う方へ

■製品の性能を十分発揮する為にも、必ず本設置マニュアルをご確認ください。
■本設置マニュアル指定の施工を行わずに発生した事故や損害に関し、弊社では一切の責任を負いかねます。
■本製品の設置後は、必ず本マニュアルを本製品のご使用者様、もしくは本製品の管理者様にお渡しください。

本製品のご使用者様／管理者様へ

■転居や移設の際は、移設先でも同様の設置条件が必要となりますので、本製品の取扱説明書と共に、本設置マニュアルを大切に保管して下さい。

もくじ

開梱および同梱部材の確認

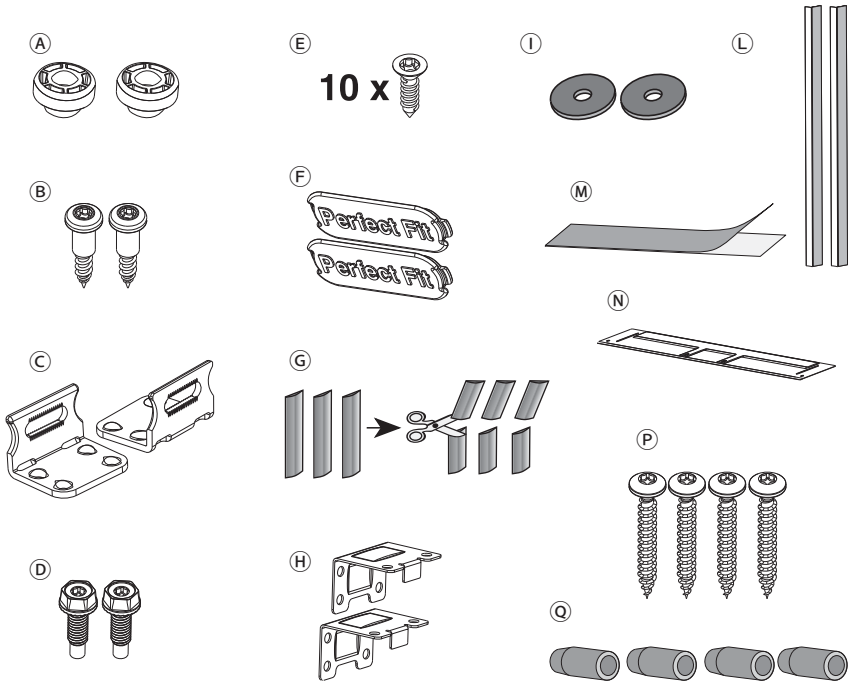
⚠ **注意** 本体を開梱した際、必ず同梱部品の確認をしてください。特にネジ類は、余った場合でも大切に保管してください。

1で取り出した同梱パーツの確認

❗ご使用方法、使用箇所が分からない部品があっても、廃棄せずに弊社までご連絡をお願い致します。

同梱パーツ名称	ラバージョイント（本製品には使用しません）	スクリュージョイント	シーリングプレート３枚セット	・取扱説明書（保証書付） ・本設置マニュアル	ドア材取り付け用型紙	洗剤サンプル×１
✓						

本製品を設置する際、トルクスドライバーT20 ✱が必要です。

ビルトイン用部材の確認

※ビルトイン用部材に関しては予告なく変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

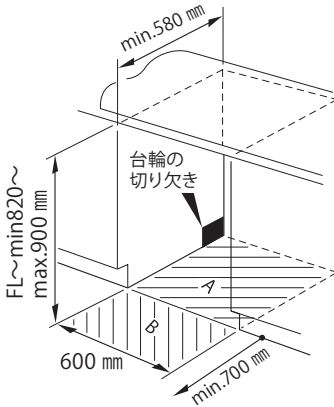
本製品設置のためのキャビネット開口

●本製品設置床面A と、設置箇所前床面B は同一レベルの高さ(段差が無いように) 仕上げてください。

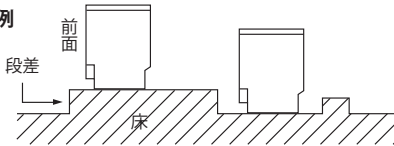
⚠ 注意

カーペットやフローリング等を後貼りした場合、設置面と引き出しする床面に段差がついてしまい、本製品を引き出す事が出来なくなります。修理や点検を行えなくなりますのでご注意願います。

⚠ 注意

本製品の背面に給排水設備を設置すると、故障などが発生した際にご使用者様自身で給水栓を閉める等の対応が出来ず、拡大損害につながるおそれがあります。絶対に背面側へ給排水設備を設置しないでください。

❗本製品を隣接するキャビネット/ 天板/ 床などにコーキング剤等で固定しないでください。

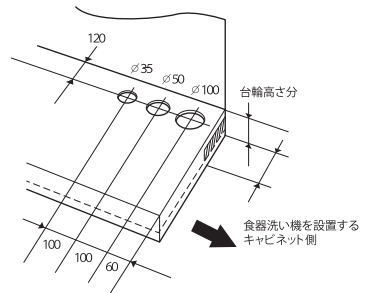
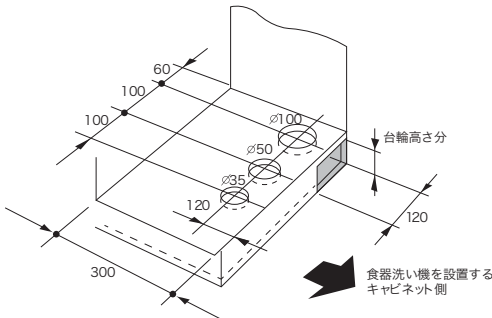
❗カウンターの高さにご注意ください。(FL～820㎜以上)

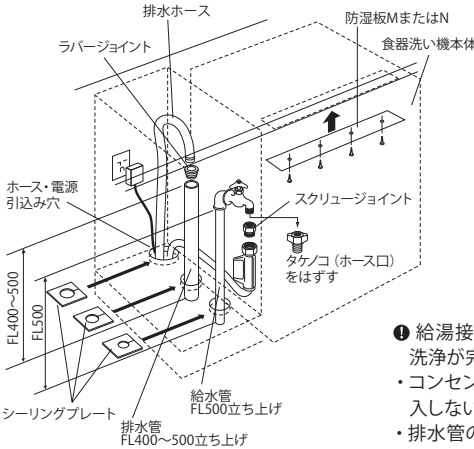
禁止例

隣接キャビネットに必要な開口寸法

❗開口を設置する際、事前に給・排水ホースの長さを確認してください。

⚠ 注意

継ぎ手を使用しての給排水ホースなどの延長は、継ぎ目から水漏れの原因となり拡大損害につながるおそれがありますので、絶対にしないでください。

[隣接するキャビネットの加工例]

給水・排水・電源設備

❶ 給排水工事は、水道法、建築基準法、各条例等の法規に準じて行ってください。

⚠ 警告

アース接地工事が不完全な場合、故障、誤作動、漏電時に感電するなど、重大事故の原因となります。必ず適切な工事を行ってください。

⚠ 注意

電源は本製品1 台につき、1 つの専用回路を設けてください。

- 単相200V、20A の専用回路と漏電ブレーカー
- アース付コンセント
  WKS294（露出型・パナソニック株式会社）
  WN1932（埋込型・パナソニック株式会社）

❶ 給湯接続をしないでください。プログラムされた時間どおりに洗浄が完了しない等、動作不具合の原因となる事があります。

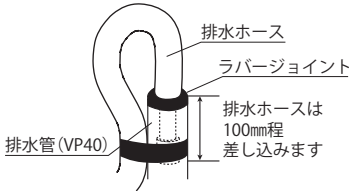
・コンセントの位置は、万が一水漏れが発生した場合でも水が流入しない箇所に設置して下さい。

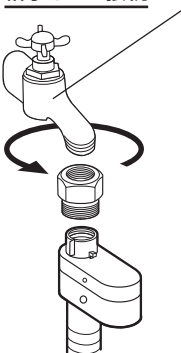
・排水管の立ち上げが不十分な場合や、排水ホースを排水管の中に入れ過ぎた場合、正常に動作しない事があります。

給排水ホース接続

⚠ 警告

給水ホース・排水ホースは絶対に切断しないでください。また、排水ホースを二重トラップにしないようにご注意ください。排水不良の原因となります。

排水ホース接続

1. 排水ホースにあらかじめラバージョイントを取り付けます。(本体側に向かって100 ～150㎜程辺りまで)
2. 排水ホースを排水管に差し込みます。
3. 排水管の口の部分にラバージョイントをしっかり差し込み、排水管～ラバージョイントをビニールテープで抜けないようにしっかり固定します。
4. 次に、排水管と排水ホースを図のようにU 字型にしてまとめ、ビニールテープまたはインシュロックで固定します。

給水ホース接続

・給水設備
1/2" カップリング付横水栓
7030-13（カクダイ）またはJY30J-13（三栄水栓）
※接続の際、タケノコ（ホース口）は外します。

⚠ 注意

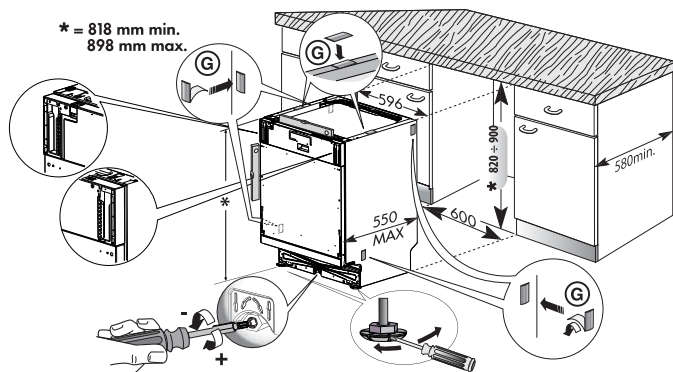
給水管の立ち上がりは、床面より500㎜必要です。

※高さが足りない場合、給水ホースにストレスが掛かり水漏れなどの原因となります。また、給水ホースの接続向きは必ず図の通りに行う必要があります。横向きや下向きなどで接続すると、漏水時にアクアコントロール機能が正常に働かず、拡大損害につながるおそれがあります。弊社指定の接続方法や、各接続部の増し締めを行っているかなど、設置前に確認を行ってから適切に接続してください。

⚠ 注意

排水管(VP40) の立ち上がりは床面より400㎜～500㎜必要です。

※立ち上がりが不十分な場合、ホース類が届かない場合があります。また、正常な運転が行えずエラーが表示される、必要以上の負荷による早期故障等、不具合の原因となります。

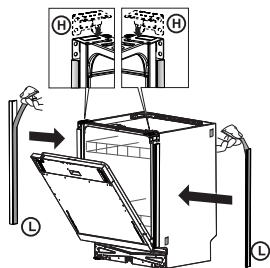
1 脚の調整／キャビネット開口について

1

① ビルトイン用部品の【スペーサー (G)】を半分に切り、本体の天面奥側× 2 ／本体側面手前下側× 2 ／本体側面奥側上部× 2 の位置に貼り付けして下さい。

②トルクスドライバーで本製品下中央にあるネジを回して、後ろ脚の高さを調整し、カウンターの高さに合わせます。

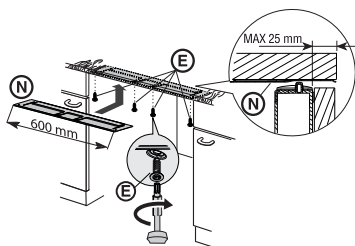
③前脚を回し、カウンターの高さに合わせます。

❗ 本製品が水平に設置出来るように調整脚を必ず使用して下さい。蒸気漏れなどが発生する原因となります。

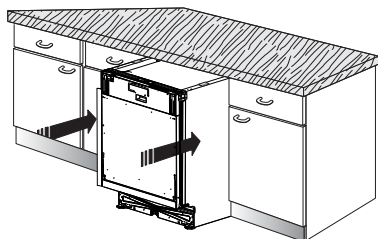
2 フィラー／製品固定金具の取り付け

2ビルトイン用部品の【フィラー (L)】と【L 字金具 (H)】を取り付けます。

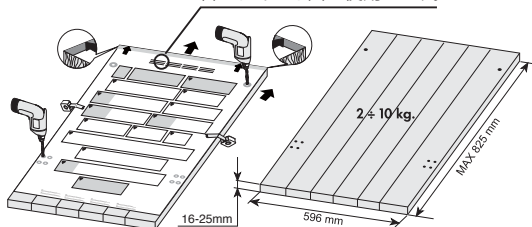
❗ フィラーは製品使用時の水分からキャビネットを保護します。必ず取り付けを行ってください。

❗ L 型金具は、隣接するキャビネットや天面カウンターへのネジによる本体固定の為に使用します。固定をしていない場合、蒸気漏れや本体の歪み、本製品自体の転倒などにつながるおそれがあります。必ずネジによる固定を行ってください。

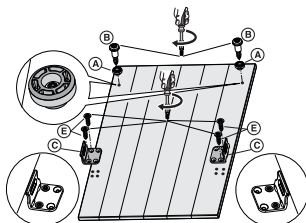
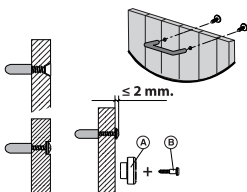
3 防湿板の取り付け

3ビルトイン用部品の【防湿板 (N)】をカウンターの裏面に【ネジ (E)】で取り付けます。

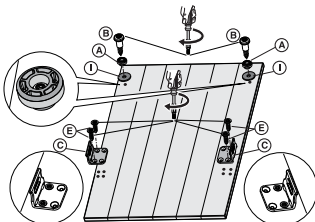
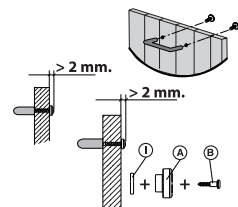
❗ ドア材の厚さは最大で 25㎜です。詳しくは5の図をご確認ください。

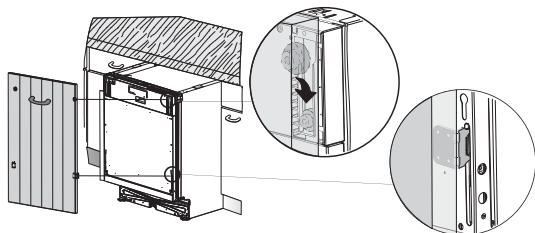
4 本体の設置

4本製品をキャビネットに押し込んで仮設置します。
❗ ホース類、電源コードを挟み込まないように注意して押し込んでください。

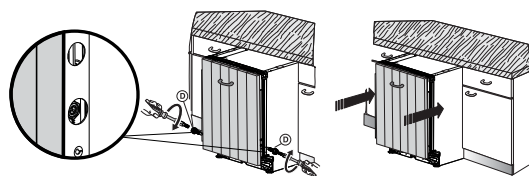
5 ドア材へのビルトイン用部品取り付けの前に

5【ドア材取付け用型紙】を、実際に取付するドア材の裏面に当てて、ドリルなどで穴を開けます。
❗ ドリルは、必ず型紙に記載されているサイズのものをご使用ください。
本製品のドア材寸法最大値は820㎜(調整脚を最大まであげた場合は825㎜) となります。ドア材を最大値まで設定した場合はフロアビームが目視出来なくなりますのでご注意願います。詳しくは13をご確認ください。

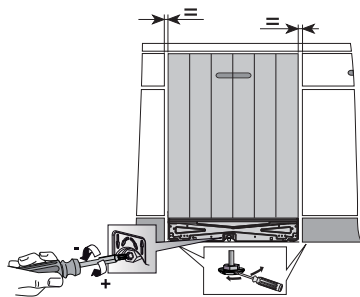
6 ドア材へのビルトイン用部品取り付けの前に

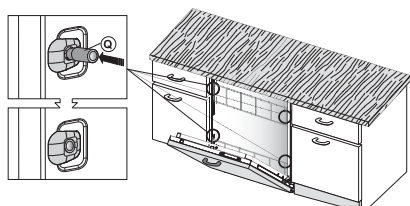
a.

6a ドア材への取っ手取り付けの際に使用するネジ頭が、ドア材から2㎜以下の高さの場合は、【ドア材固定部品(A)】を【ねじ(B)】を使用して、5で開けた穴に当てて取り付けします。更に、【スライドドア用金具(C)】を図のようにネジで固定します。

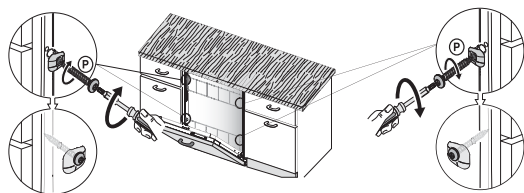
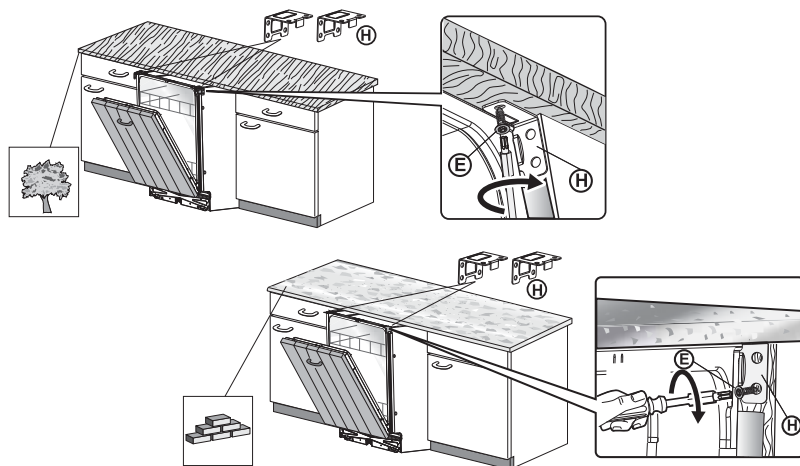
b.

6b ドア材への取っ手取り付けの際に使用するネジ頭が、ドア材から2㎜以上の高さの場合は、【ドア材固定部品(A)】とドア材の間に【ワッシャー(I)】を挟み、【ねじ(B)】を使用して、5で開けた穴に当てて取り付けします。更に、スライドドア用金具を図のように【ネジ(E)】で固定します。

7 本製品へのドア材取り付け

7 6で部品を取り付けたドア材を本製品に取り付けます。

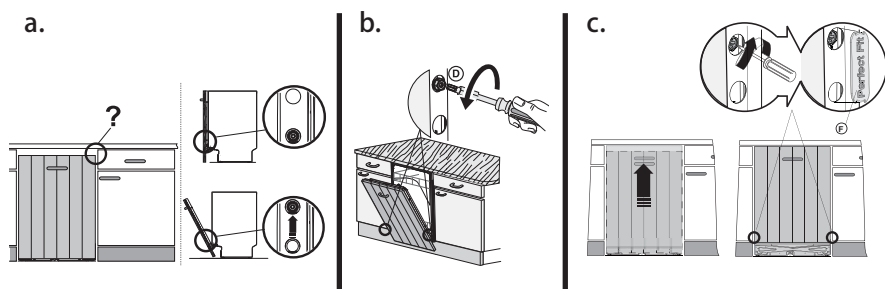
8 ドア材の仮固定

8 本製品の内ドア側面にあるネジ穴から、【ボルト (D)】を差して、トルクス T20 ドライバーで回して仮固定します。

9 背面側調整脚の調整

9 取り付けたドア材の左右の隙間を調整します。

10 -1 本製品のキャビネットへの固定

10 本製品をキャビネットおよびカウンターの裏側に固定します。
取り付けたドア材を手前に引き倒し、庫内手前側両面にある樹脂パーツに【ガイド (Q)】を差し込み、本製品を側面のキャビネットに【ネジ (P)】を使って固定します。

10 -2 本製品のキャビネットへの固定

11 L 字金具とキャビネットの固定

11 2で取り付けしたL字金具を、カウンターの材質に応じて、裏側、もしくはキャビネット側面に向かって【ネジ (E)】で固定します。

※カウンターの材質が木材の場合はカウンター裏側、大理石などの場合は側面への固定を行うようにしてください。この時、ネジは時計回りに回す為、固定金具が手前側に倒れてきます。最後に微調整を行い、本製品のコントロールパネルに当たらないように修正して下さい。

12 ドア材と周囲キャビネットとの隙間調整

12 8で仮固定したドア材を、両サイドのキャビネットと合わせます。

12 a.　ドア材を下から持ち上げ、側面ネジ穴の上まで持ち上げます。

12 b.　【ネジ (D)】を回し、緩めながら

12 c.　ドアを持ち上げ、ネジをしっかり締め付けてから【目隠しキャップ (F)】をはめ込みます。

13 ドア材のサイズについて

ドア材および巾木の寸法は、下表内の寸法で自由に設定出来ます。

⚠ 注意

ドア材の真下に巾木を設定する場合は、ドア材下端～巾木天面の間に3㎜の隙間を設けて下さい。
(例 :(a)40mm, (b)0mm の場合 (x)40mm-3mm=37mm)

	巾木なし＋ フロアビーム使用しない	巾木なし＋ フロアビーム使用	巾木あり＋ フロアビーム使用しない	巾木あり＋ フロアビーム使用
ドア材最小寸法	665㎜ (660(*1)㎜)	665㎜ (660(*1)㎜)	665㎜ (660(*1)㎜)	665㎜ (660(*1)㎜)
ドア材最大寸法	820-825(*2)㎜	780-785㎜ (*3)	820-825(*2)㎜	780-785㎜ (*3)

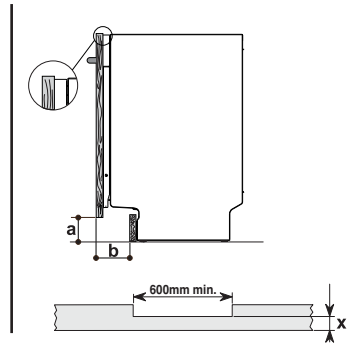
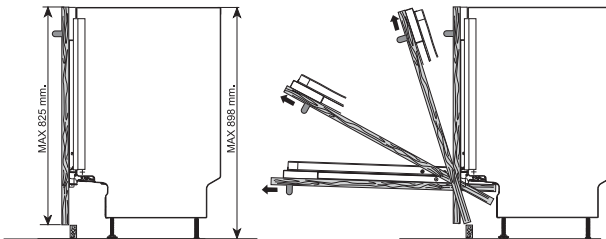
巾木最小寸法	-	-	0mm	0mm
巾木最大寸法	-	-	下記、寸法出し チャート参照	※チャート内 a=40 ～ 100, b=50 以上参照

(*1)660㎜で設定出来ますが、製品のヒンジなど、一部分が露出します。
(*2)820㎜以上825㎜でドア材の長さを設定する場合、本製品の調整脚を伸ばして調整する必要があります。(例 :ドア材823㎜＝本製品高さ823㎜以上)
(*3) フロアビームを使用する場合、ドア材～床面の最小離隔距離 (a) が40㎜以上、ドア材表面と巾木表面との離隔距離 (b) が50㎜以上必要となります。(チャート内太枠参照)

【寸法出しチャート】　図の中で(a) 寸法と(b) 寸法の交わる位置が(x) 寸法となります。

単位：㎜

b＼a	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120	130	140
0	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	105	105	105	105
10	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	105	105	105	140
20	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	105	105	130	140
30	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	105	120	130	140
40	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120	130	140
50	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120	130	140
60	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120	130	140
70	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120	130	140
80	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120	130	140
90	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120	130	140
100	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120	130	143
110	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120	130	135
120	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120	130	135
130	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120	130	130

X

❗ ■で色のついた寸法は巾木にカットが必要となります。
本製品にて、フロアビームを使用しない場合のドア材最大寸法は825㎜(*2) です。
825㎜を超えてドア材を作成すると、ドア材の下端が本製品に当たり、ドアが完全に開きません。また、ドア材が当たる事が原因で、ドアヒンジの破損に繋がりますのでご注意ください。

⚠ 注意

ドア材の寸法、巾木の位置と寸法でフロアビームを目視出来ない場合があります。
例 :本製品が898㎜の高さのカウンターに入る場合
898㎜ー825㎜=73㎜…(a)
チャート内(a)70㎜の場合、(b) 寸法は0 ～130㎜の間に巾木を設定出来ますが、フロアビームを目視する場合は、(b) 寸法が50㎜以上必要となります。この時、巾木の高さは70㎜で設定が可能です。

本製品設置後のチェック項目 [試運転]

必ず試運転をし、動作チェックを行ってください。

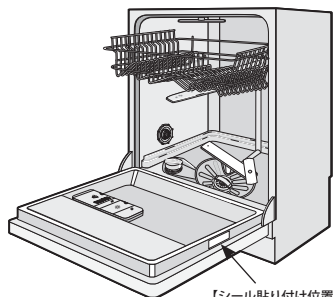
製品の引き渡し時にご使用者様にチェックした内容が分かるようにお渡しください。
万一、設置等に不備があった場合、弊社では一切の責任を負いません。

点検箇所	チェック事項	参照項目	チェック
設置	**防湿板やフィラーの取り付けは適切にされていますか?** 洗浄中に発生した蒸気がカウンターなどに直接当たり、カウンター天板が劣化します。必ず取り付けを行ってください。	D 項2、3	
	本体は水平に固定されていますか? 設置が適切でない場合、本体が歪み、洗浄時に発生する蒸気の漏れや漏水、早期劣化の原因となったり、本製品付属の固定金具が当たるなど、不具合の原因となります。	D 項10、11	

点検箇所	チェック事項	参照項目	チェック
接続	**ホース類に水漏れはありませんか？** 折れ、ねじれ、水経路上にストレスが発生するような曲がり方、本体接触による押しつぶし等があると正常に給排水が行えず、故障や水漏れの原因となります。	C 項給排水ホース接続	
	給水ホース⇔給水栓などの接続部の増し締めは行いましたか？ しっかり締め付けていないと、水漏れの原因となります。蛇口を開けて、水漏れがない事を必ずご確認ください。	C 項給排水・排水・電源設備	
	給水管の立ち上がりは床面から500㎜ありますか？ 立ち上がりが無い場合、給水ホースの接続が行えない、給水ホースへの異常なストレスによる早期劣化破損や、漏水発生時に安全装置が働かず、周囲設備側へ漏水による拡大損害等が発生する原因などになります。 必ず本設置マニュアルの通りの立ち上がり、給水ホースの向きで設置を行って下さい。	C 項給排水・排水・電源設備	
	排水管の立ち上がりは床面から400 ～500㎜ありますか？ 排水ホースを延長しての設置は、継手部分から漏水が発生する可能性があるので行わないでください。弊社指定の施工を行って設置してください。	C 項給排水・排水・電源設備	
	単相200V・20A の専用回路と漏電しゃ断器を設けていますか？ 100V では正常に動作しません。また、本製品のプラグを勝手に変更する、直結で接続する等、設置マニュアル記載以外の方法で設置する事を禁じます。	表紙／C 項	
	【法的有資格者】によるアース工事及び電気配線工事を、電気設備技術基準等関連法令規則等に従って行いましたか？ 電気設備が適切でない場合、漏電、火災等の重大事故に繋がるおそれがあります。	表紙／C 項	

必ず、設置後に給排水や洗浄、プログラムの設定やキャンセルが正常に行える事を確認し、水漏れが発生していないか確認を行ってください。

点検箇所	チェック事項	参照項目	チェック
試運転	給水栓を開き、一次側の電源が単相200V で、アース接続がされている事を確認してください。	―	
	1. 給水栓を開きます。 2. 排水管に排水ホースがしっかり差し込んである事を確認し、電源ボタンを押して電源を入れます。 ※電源ボタンおよび操作パネル類は製品のドア部分天面にあり、ドアを開いた状態の時のみボタン操作を受け付けます。 3. ∧もしくは∨のボタンを押しながら、”30 Minutes 60°(30 分コース洗浄)” のコースを、OK ボタンを押して設定し、ドアを閉めて試運転を行います。 ※ドアを閉めると排水、給水動作をしばらく行いますが正常です。表示LED は消灯します。なお、30 分の表示は、おおよその目安の時間となり、試運転環境により終了時間が前後します。 4. 試運転動作完了後、ドアを開けてお湯になっているかどうかの確認を行ってください。 5. スプレーアームに緩みが無いかを確認し、庫内底面のゴミフィルターの破損が無いかを確認します。	―	
	試運転完了後、引き渡しまでに時間が空いてしまう場合は、給水栓の閉栓やドアをしっかり閉じる等、万一の水漏れ事故発生時に備え、安全を確保してください。		

F　PNC およびシリアルナンバーの記載箇所について

本製品をご使用者様に引き渡す際、必ず以下の点を取扱説明書および本設置マニュアルに記載のうえ、お渡し頂きますようにお願いします。

・Prod.No.（PNC：11 桁の数字のみで構成された番号となります。）
・Ser.No.（シリアルナンバー：8 桁の数字のみで構成された番号となります。）
・本製品をご購入された販売店名および日付の分かる書類の原本【例】納品書、領収書など

シリアルナンバー記載箇所について

①本製品の丸ドアを開けます
②本製品正面の図の位置にPNC、シリアルナンバーが記載されています。

設備点検確認者：	**機器点検確認者：**
Prod. No.（※）：	**Ser. No.：**

Prod. No. およびSer. No. の記載箇所はF 項（次ページ）を参照してください。

本製品は特定保守製品です。

- 本製品は消費生活用製品安全法で定められた特定保守製品です。
- 特定保守製品とは、消費生活用製品のうち、長期間の使用に伴い生ずる経年劣化により安全上支障が生じ、一般消費者の生命又は身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況等からみてその適切な保守を促進することが適当なものとして政令で定めるものをいいます。

- 本製品付属の本マニュアルおよび取扱説明書、特定保守製品所有者票は、必ず特定保守製品取引事業者様や関連事業者様より、消費者、賃貸業者など製品の所有者（以下ご使用者様）にご説明のうえお渡しください。
  所有者票の代行記入などを行う場合は、ご使用者様の同意がある場合等が条件となります。
  このため、必ずご使用者様本人の同意を得てから行ってください。
- 本製品を取得された方は、特定保守製品の輸入事業者に対する所有者情報の提供に協力する責務があります。
  詳しくは本製品付属の取扱説明書、または当社ウェブサイト（下記参照）をご確認ください。

エレクトロラックス・ジャパン株式会社
メジャーアプライアンス事業部

●本製品についてのお問合せは
東　京　〒105-0011 東京都港区芝公園 2-4-1 芝パークビル A 館6F
TEL（03）6743-3070　FAX（03）3434-4123
http://www.aeg-jp.com

TH201507　　ANC 117 899 980